



利総第 1 9 3 号
平成 1 9 年 5 月 7 日

国土交通省道路局長 様

利尻町長 田 島 順 逸



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成 1 9 年 4 月 2 日付国道企第 1 1 4 号にて依頼のありましたこのことについて、別紙のとおり提出しますので、よろしくお願いいたします。

(総務課総務係)

道路整備に伴う中期的な計画の作成にあたっての意見

= 北海道 利 尻 町 =

厳しい財政事情と限られた財源の中で、道路整備を進めていくためには、道路特定財源の確保を図るとともに、一層効果的で投資効果が生じるよう、又、適切な評価がなされる計画内容であってほしい。地方の道路整備は都市部と違って、まだまだ遅れている。

特に、都市と地方との格差を解消することは勿論、地方における住民生活の向上と産業経済活動にとって極めて重要な役割を果たしているので、優先的路線の選択と予算の重点配分等によりスピーディな道路整備の促進をされたい。

1. 規格の高い道路と一般国道の整備

2. 地方道路の整備

地域と地域（地域間）を結ぶ路線が多いが、地域の活性化や振興発展に不可欠要素となっているのが現状

3. 災害等に強い安全で安心できる道路整備

地震、津波、高波、豪雨、土砂崩れ、雪崩・地吹雪、交通障害（勾配、カーブ）等に配慮された道路

4. 高齢者や子供が社会生活をしやすく、安全性高い生活に配慮された道路

5. 地域にあった道路規格、構造等によるコスト縮減された道路整備

（1）幅員・・・一定の幅でなく、地域、区間によっては最小限の幅員

（2）舗装の厚さ・・・積雪寒冷地帯の特殊事情（凍土関係）は、当然考慮されなければなりません、交通量も考え合わせて舗装厚を薄くする等の検討が必要と思う。

（3）工作物・・・①ガードケーブル等防護柵類は、目的を優先させ、しかも耐久性があつて維持補修費のかからなく後年度負担の少ない材質を利用

②照明施設においては設置間隔や使用材質を見直し、コストの削減を図る。これによって電気料の軽減に関連する。

③シーニックバイウエイ構想による道路景観を配慮しつつも、住民の参加協力を求めるなど、道路管理上での維持費等の削減を図るほか、後年度負担の要しない構造設計にする。

④道路案内板、標識も華美にならないよう最小限に配慮（目的が達成されること）

6. 離島対策について

本土と離島間の海上航路に路線設定を行う等して、道路特定財源の
使途拡大等によりカーフェリーの海上運送コストの軽減対策に支援願
いたい。